学長裁量経費による
博士課程(後期)学生の海外派遣

先端産学連携研究推進センター（URAC）

University Research Administration Center

学長裁量経費による国際共同研究支援４施策

・国際共著論文数増加に向け具体的な行動をとる教員を費用面から支援

・海外大学・研究機関で研究活動を実施する博士課程(後期)学生を支援

教員および博士課程(後期)学生の海外派遣【Outbound】

海外研究者の招聘助成【Inbound】

学生の国際共著論文掲載料補助【Output】

⇒　国際共著論文の継続的な増加が期待できる国際共同研究基盤の構築

博士(後期)課程学生の海外派遣

海外の研究者の指導を受けながら研究を行なう

↓

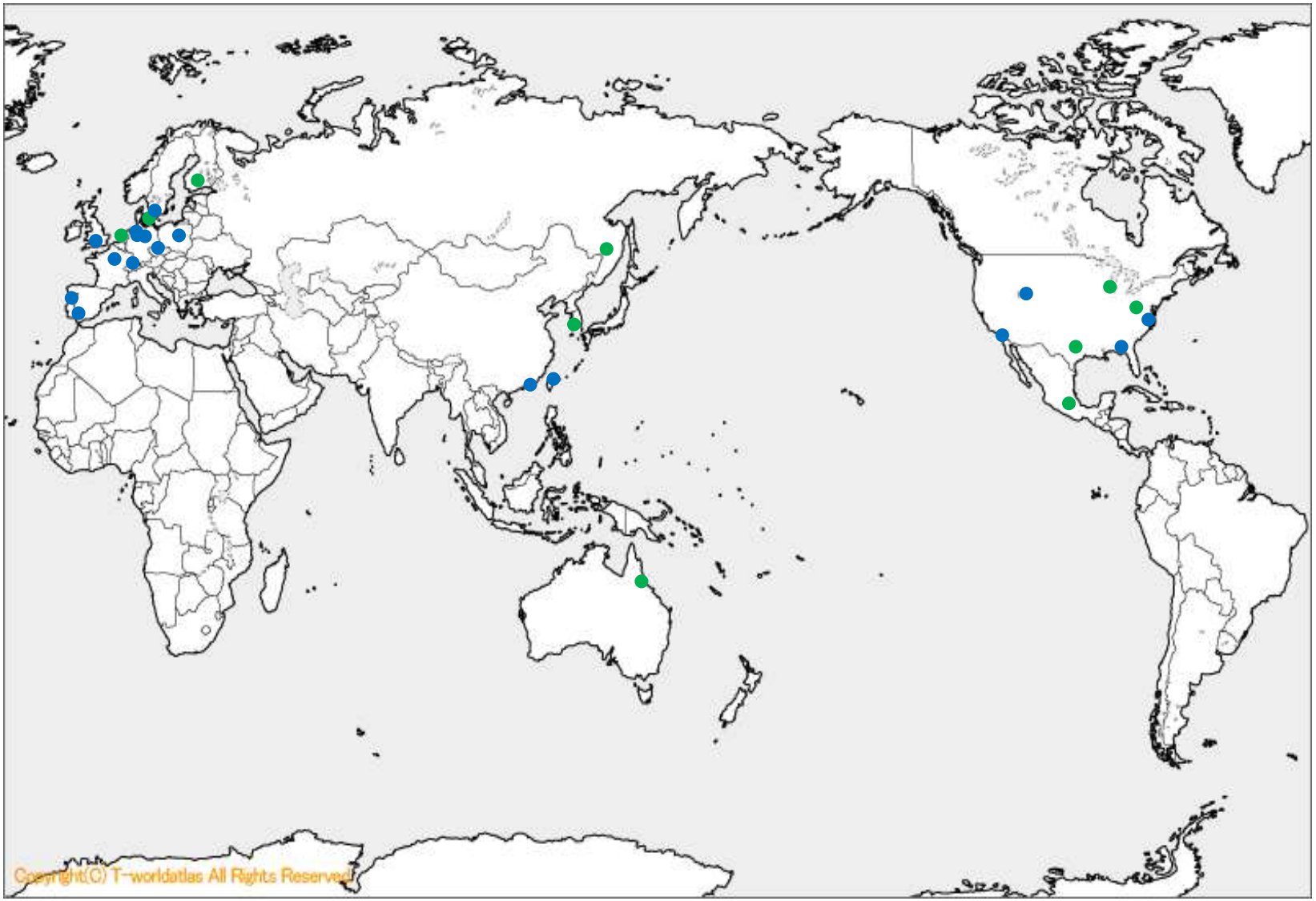
コミュニケーション能力と国際的な視野を育む

↓

国際社会で活躍できる研究者を養成する

	H２８	H２９	H３０	H３１
博士(後期)課程学生の海外派遣	９名	７名	4名	８名

海外派遣先マップ



『博士(後期)課程学生の海外派遣』　募集要項

①趣　　旨　本学教員と研究上の交流があり、教育的見地を持って本学の博士課程（後期）学生を受け入れてくれる海外の研究指導者の指導を受けて、海外の研究室での研究活動 (共同研究の実施や実験技術の習得など) を行なうことにより、コミュニケーション能力と国際的な視野を有し、国際社会で活躍できる研究者を養成する。

②応募資格　本学の博士課程（後期）学生。
但し、連合農学研究科および連合獣医学研究科所属の学生は、配置大学が本学の学生に限る。
（博士課程（後期）への進学が決まっている修士課程学生については応相談。）
（社会人および留学生は対象外とします。）

③派遣期間　２ヶ月～６ヶ月程度（内容により柔軟に対応します。）

④派遣場所　海外大学・研究機関、海外企業研究所など

⑤助成内容　[1] 派遣学生の往復エコノミー航空券代、本学規定内の日当および宿泊費実額
（本学規定による日当不支給日は、食事代相当額を支給します。）
（予算状況により、日当を減額することがあります。）

[2] 指導教員の派遣先訪問にかかる往復エコノミー航空券代、本学規定の日当および宿泊費実額
（指導教員の派遣先訪問は、学生の派遣期間中に１回のみ助成します。）

⑥提出書類　海外派遣計画書（具体的な研究テーマなどが、派遣先の教員と派遣学生、指導教員の３者間で十分に議論されていること。）

⑦提 出 先　ktakada@cc.tuat.ac.jp　先端産学連携研究推進センター（URAC）：高田

⑧提出期限　２０１９年5月３１日

⑨募集人数　１０名程度